

みんなで考えよう「イマドキの家族」 開催報告

開催日時：2011年 7月2日（土）10：30～12：30

会場：東京都生協連 3F

参加人数：36名（地域生協31名、日本生協連2名、中野区1名、東京都生協連2名）

主催：東京都生協連男女平等参画推進連絡会



コープとうきょう
小浦理事の司会で
進められました。

子育てや家族との時間を楽しみ地域との関わりの中で、自分自身も成長する男性、将来そんな人生を送ろうと考えている男性がもっと多くなれば、妻である女性の生き方が、子どもたちの可能性が、家族のあり方が大きく変わっていきます。「仕事も育児も自分らしくいきいきと」をテーマに、ファザーリング・ジャパン理事東浩司氏を講師に迎え家事や子育てをもっと楽しみ、家族みんながイキイキと暮らせるためにみんなで語り合いました。

仕事も育児も自分らしくいきいきと！



主催者挨拶をする
東都生協副理事長
中村さん。

講師：東浩司氏(あづまこうじ)

＜株式会社ソラーレ代表、NPO法人ファザーリング・ジャパン理事＞

はじめに、講座のねらい、内容と進め方、ファザーリング・ジャパンについての話の後ワールド・カフェの手法を活用し対話を中心に学びあいました。



講師の東浩司氏

親が楽しんで生きる姿を見て、子どもは未来を肯定する。

ワールドカフェとは

カフェのようにリラックスした雰囲気、問いをもとにした自由に語り合うことでお互いに気づきや学びあいを高めます。

- ① 講師より、目的・内容・進め方の説明、自己紹介
- ② アイスブレイク「脳の体操」
- ③ ミニレクチャー「イクメンになるには」、ワールド・カフェとは
- ④ ワールド・カフェ 1ラウンド目
- ⑤ 席替え
- ⑥ ふりかえり&ミニレクチャー「ワーク・ライフ・バランス」
- ⑦ ワールド・カフェ 2ラウンド目
- ⑧ 席替え&ふりかえり
- ⑨ ミニレクチャー「家族の絆を深めるために」
- ⑩ ワールド・カフェ 3ラウンド目

アイスブレイク

「この2週間でうれしかったこと、楽しかった、ラッキーだったこと。」をテーマに、隣どうし交代で話しました。

笑っているパパ、ママになるよ！ ワールドカフェ1R

テーマ 子育てを通じて、子どもからまなんだこと
(学べるだろうと思うこと)
親として成長したこと
(成長できると思うこと)

ミニレクチャー 「手伝ってあげる」...

無自覚の言葉の裏に、本当の気持ちが現れるので、何気ない言葉使いに注意！当事者意識に欠けていることが丸見えです。



子どもから教わることは多い



ミニレクチャー

ワーク・ライフ・バランス

⇒バランスで「やじろべえ」「てんびん」を連想させるが、「仕事：家庭＝50：50」が理想ではない。
 仕事中心（とくに若い頃は仕事力を磨くことが重要）、育児に専念（とくに乳幼児期）の時期があってもよい。
 人生トータルのバランスを考えて戦略的に動く！



★企業でWLBが広がらない理由は「困ってないから」。困っているのは育児をしながら働いている女性。ワーク・ライフ・バランス＝仕事と家庭の両立。だから、女性支援のワーク・ライフ・バランス。

席替え

各テーブルで1名が「テーブルホスト」として残り、他のメンバーはバラバラになる形で別のテーブルに移動。

ワールドカフェ2R

テーマ ワーク・ライフ・バランスの現状について
 「会社」と「自分」の折り合いをどう付けてます？



「仕事って楽しいよー」と子どもに語っていますか？
 「大人になるっていいぞー」と胸を張っていますか？
 「いってきます」と大きな声で仕事に向っていますか？

最近の子どもの「なりたい職業」は？

A：ティッシュ配りのおねえさん

子どもは輝いて生きる大人の姿に憧れを抱きます

「話す」と「語る」の違いは？

「話す」は「舌」で話す。

「語る」は「吾」を語る

子ども（部下）に伝わっているのは何を言ったかではなく親（上司）自身の生き方、人としてのあり方



みんな笑顔で語り合いました。



席替え

ワールドカフェ3R

テーマ 夢

自分がやってみたくいこと
 会社・組織に望むこと

出発点は「感謝」

しあわせに働くための出発点は

家族と仲間と健康への感謝

感謝の反対語は？

当たり前



ワールドカフェで

語ったこと、感じたこと、気づいたこと



【最後に】

子育てから学べることや、仕事との両立について組合員も職員も一緒に語り合い考えあえる場となりました。

お互いに語り合いながら「自分らしく輝いて働く」ための考え方やヒントを学びました。また、ワールドカフェという新しい手法も、今後活用していきたいとの感想が多く寄せられました。



閉会挨拶をするパルシステム東京理事長 吉森さん